

健康管理士一般指導員活動事例取材シート

健康管理士番号	H - 22260
お名前	井上 宏美
性別	女
年齢	68歳



なぜ健康管理士一般指導員の資格を取得しようと思ったのですか？

私は39年間看護師として、自治体病院で勤務しておりました。その間、看護専門学校や精神障害者への健康指導を実践しておりました。退職後も継続して関わりがあるため、現状の知識を得たいと思っていたところ、新聞で健康管理士一般指導員の資格がある事を知り、学習致しました。

健康管理士一般指導員受験対策講座(通信教育)から資格取得までの感想はいかがですか？

6冊のテキストが分かりやすい内容で書かれてあり、項目ごとに整理されているため、学習しやすかったです。法律が変わっている事もあり、現職時では知らなかった事も多くあり、楽しく学ぶ事が出来ました。試験会場では、多くの方が受験されていたので、健康に関する関心度を知りました。

健康管理士一般指導員の資格をどこで・どのように活用していますか？

地域の中では、体を動かす事の必要性から楽しく実技指導をしています。(子ども教室)
看護専門学校では、非常勤講師として講義をしています。精神障害者支援センターにおいて、メンバーと楽しく体を動かす事の楽しさを伝えています。気功教室を月1回実施し、中高年の方々の健康支援をしています。地域にあるレクリエーション協会の中で、理事として実践活動をしています。

その他「ほすぴ」や「セミナー」「能力開発講座」等の感想がありましたらお書きください。

西洋医学から東洋医学と幅広く取り上げて頂いており、非常に参考になっております。問題を提出するというのも、大変良い方法と考えています。